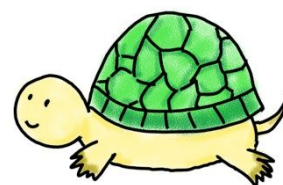


K a m e の技術士試験体験記



◆自己紹介

ニックネーム：k a m e（37歳）※由来は、マイペースであせらず・ゆっくり・着実に。

家族構成：妻（35歳）、息子（4歳）、娘（0歳）

職種：中小建設コンサルタント勤務

※入社当初は設計部勤務、最近10年程は、高速道路会社の施工監理業務に従事

技術士二次試験受験科目：建設部門 道路 道路構造物

技術士二次試験受験歴：平成19年～平成23年（33歳～37歳）連続5回受験

※長い間勉強していると、家族サービスと勉強の両立が問題になる方も多いと思います。私の場合は、ある時に家族があつてこそなんだと思いました。それからは、家族サービスが第一、仕事と勉強は第二（ただし決して手は抜かない）としました。

そうすると、時間のやりくりがだんだんと上手になってきました。

建設業界では、勉強は技術士試験に限らず、ずっと続けるべきだと思います。

今後のためにも、私は技術士試験の勉強を通じて、このような考え方を身につけることができ良かったと思っています。

◆受験記録

平成 19 年 [建設一般B、専門C]

初めての技術士筆記試験受験。当時 33 歳、前の席の先輩が受験するということでつられての受験。まったく勉強しませんでした。

ただ、今思えばこの時棄権せず、2 時間かけて試験会場へ行って、朝から夕方までぶっつけ本番で初めて論文を書きました

これが技術士受験のスタートでした。

平成 20 年 [建設一般A、専門A] [口頭試験不合格]

この年もほぼ勉強しませんでした。何かの間違いか筆記試験が合格してしまいました。

当然、体験論文、口頭試験の事前準備はまったくしていません。あわてて、体験論文を書いて、面接の準備をして、口頭試験に臨みました。試験後は何とか口頭試験を乗り切ったと思っていましたが、結果は不合格。心に深いダメージを受けました。やはり付け焼刃の体験論文は面接官に見破られてしまう。

自分の未熟さにせつなくなりつつ、この時必ず技術士試験に合格すると誓いました。

しかし、この時、筆記合格は簡単と勘違いしてしまった、それは大きな間違いでした。

平成 21 年 [建設一般B、専門B]

今年は、昨年のリベンジを果たすため 4 月にメジャーなガチンコ技術士学園に入学。勉強は分厚い資料を一生懸命読みました。しかし試験直前に論文を書いてみると全然書けない。それでも何とか書きあげて、ガチンコの添削を受けると全然ダメという評価。

「あれ？何かおかしい。昨年は筆記合格してるのに？」勉強方法が迷走したまま、筆記試験受験。

建設一般は低炭素社会について、ありきたりのことしか書けず B 評価。

専門にいたっては、問題文をよく読まず、題意を外し B 評価。

「なぜ昨年受かった自分が B B 評価なんだろう？、去年より勉強したのに・・・」深く、深く落ち込みました。

平成 22 年 [建設一般B、専門A]

自信は無くなっていました。しかし、平成 20 年の口頭試験不合格の時の必ず技術士試験に合格するという決意は萎えませんでした。

どうしたら技術士になれるんだろう？インターネットを検索して Hero の技術士塾のホームページを見つけました。ホームページに書いてある文章を読んでいると、非常に読みやすい。自分もこんな文章が書けるようになりたい。

よく読むと、2 月にセミナーを開催するとのこと。会社以外のセミナーなんていったこと

が無い。でもこの Hero 先生に会ってみたい。勇気を出して、1月1日元旦にセミナー受講を申し込みました。

2月にセミナーを受講。熱い Hero 先生と向上心の高い受講生がたくさんいて、今まで感じたことの無い雰囲気でした。

セミナーでは、勉強の仕方、勉強中のモチベーションの保ち方などを教わりました。これで自分も合格できるのでは・・・と技術士合格が明確にイメージできた気がしました。

その後、Hero 塾の10回コースに入塾し、Hero 塾の基本どおり他人の脳を借りて、自分でも調べて、論文を書いて添削を受けてといった一連の勉強をスタートしました。

最初は低かった点数が、少しずつ上がっていき手応えを感じました。

そんな中、5月のゴールデンウィークにアクシデント発生。自転車で転んで、左鎖骨を骨折して入院してしまいました。

病院のベッドから、Hero 塾の掲示板に骨折してしまつたと書き込んだ所、他の塾生から励ましの書き込みを多数頂きました。落ち込んだ気分がだんだんポジティブになってきました。手書きは少し辛いけど、怪我したのは幸い利き腕でない左だった、入院したおかげで考える時間はたっぷりあると思うと勉強をやる気が出てきました。

その後は、順調に勉強を進め、Hero 塾の論文の添削で高得点をとれるようになってきました。また、筆記試験直前に受けた日経コンストラクション主催の模擬試験では余裕で合格。添削のコメントは「この調子で受験して下さい」でした。

そして迎えた試験当日、建設一般は予想していた防災。専門も選択は予想していた舗装のリサイクルがでました。書き終えるとこれは受かったと思いました。

9月、10月は Hero 塾で体験論文の作成を進め準備万端。

10月29日の合格発表を待ちました。しかし、結果は不合格。今年は Hero 塾との出会いや骨折のアクシデントを乗り越えて、きっと合格する運命と思っていました。

でも結果は非情です。何度見ても自分の番号はありませんでした。

それでも、平成20年口頭試験不合格の時に誓った絶対合格するという決意は揺らぎませんでした。

平成23年 [建設一般A、専門A] [口頭試験結果待ち]

そして迎えた今年度の受験、今年も Hero 塾を信じて2月に10回添削コースに入塾して、順調に勉強をスタートしました。

そんな中、我が家に3月9日に第二子の女の子が誕生、その2日後の3月11日に東日本大震災が発生しました。幸い娘を始め家族全員無事でしたが、家の周りは液状化現象で道路は隆起し、マンホールは浮き上がる大変な状況でした。マンションの水道は止まり、妻

と子供たちは実家に避難。私は一人で、水の出ない家でしばらく過ごしました。そんな環境の中、3月、4月は思うように勉強が進みませんでした。しかし今年はその様な状況の方が日本中にたくさんいて、きっと私は被害の少ない恵まれていた方でしょう。

5月から勉強を再開しました。直接東日本大震災をテーマにした問題は出ないだろうという予想もありましたが、どうしても東日本大震災について論文を書きたいと思い3回書きました。しかし、添削結果はどれも不合格。肩に力が入りすぎていたのか、あせってきました。

そんな時、認定講師の方との Skype で「私も去年の今頃うまく書けなかった。添削の点数も不合格だった。でも最後まであきらめずに勉強して合格したんだ」と言われました。

勇気がわいてきました。それからは、あせらず今までやってきた勉強を地道に集中して続けました。添削の点数も徐々に上がってきて、十分やったと思える準備が出来て筆記試験を迎えることができました。

当日は背伸びせず、自分の力を出し切れたと思います。

ただ、振り返ると、建設一般で題意を外した箇所があり、また今年もダメかな？まあダメならまた来年頑張ろうという気持でした。

今年ダメでも来年の合格に活かそうと思い、体験論文の推敲は進めました。

そして10月28日筆記合格発表、合格していました。

勉強に協力してくれた家族、お世話になった Hero 先生、認定講師の方たち、添削してくれた会社の先輩方、皆さんへの感謝の気持ちでいっぱいでした。

一晩明けると、3年前の口頭試験不合格の悪夢がよみがえってきました。3年前より勉強しているし、技術者として成長していると思う。しかし不安は消えません。

会社の模擬面接、Hero 塾の模擬面接を受けましたが、試験当日まで不安な一カ月を過ごしました。

しかし、12月3日の口頭試験を終えて、今思えば筆記合格から口頭試験までの一カ月間はすごく色々なことを考え、成長できた貴重な時間であったと思います。

これを書いている現在、口頭試験の結果は分かりませんが今年度やるべきことは全てできたと思っています。今は、ダメならまた来年頑張ろう、合格してもまた勉強しようという気持ちです。

私は、最初のセミナーで聞いた Hero 語録「技術士になれるのは頭のいい人でなく、あきらめない人である」を信じて今まで勉強してきました。

これから技術試験にチャレンジしようとする方も、決してあきらめず勉強を続けて欲しいと思います。

2012年1月9日 k a m e